

■第1節2 取り組みの方向2

医療・保健・福祉が連携した安心・健康長寿のまち



◇個別計画の理念(最上位の目標)＝総合計画基本構想の「取り組みの方向」の評価

取り組みの方向	<p>歳を重ねても健康でいたいという思いはみんなの願いです。人生のうちで健康でいる期間が長ければ長いほど質の高い生活が送れます。</p> <p>そのためには、市民一人ひとりが「自分の健康は自分で守る」という自覚を持ち、自身の健康状態を的確に把握するとともに、家族みんなや仲間と楽しみながら健康づくりを続けることが重要です。</p> <p>市民誰もが生涯を通じて活動的に生活できるように、市民が主体の健康づくり活動や地域で進める健康づくりを推進していきます。</p> <p>また、健やかで安心して暮らしていくために、医療・保健・福祉の各分野の関係機関・団体との連携を強化し、誰もが身近なところで適切な医療を受けられるような地域医療体制が充実したまちをめざします。</p>
---------	--

◇個別計画の評価1 (①+②の評価)

8年間の取り組みに係る総括コメント	<p>2016年に未病センターを開設し、気軽に自身の健康状態の把握や健康相談ができる場を設けた他、2017年には在宅医療の連携拠点を設置。安心・長寿のまちを目指し、地域の健康づくり施策を推進して医療費の抑制に努めた。</p> <p>総合的病院誘致は白紙に戻ったが、国や地域の現状を共有し、逗子の地域医療を検討する場を設けた。</p>	個別計画の評価1  (8年間の取り組みに係る総括評価)	Ⓑ
審議会・懇話会等の総括意見 (個別計画の懇話会等が作成)	<p>計画策定当初には予期されなかった感染症拡大や総合的病院誘致が白紙に戻るなど、取り巻く環境が大きく変わる中、工夫をこらした健康づくり施策の推進や地域医療体制の充実への検討がされており、この間の取り組みはある程度達成できた。</p>	審議会等が妥当と考える評価区分	Ⓑ

①個別計画の評価2(施策体系別)(再掲)

個別計画の評価2 (施策体系別)	B	審議会等が妥当と考える評価区分	B
---------------------	---	-----------------	---

②目標【2022年度】に対する評価

目標1	★健康増進計画が推進され、国民健康保険被保険者一人当たりの医療費の抑制が図られている。				
実績	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
	国民健康保険被保険者一人当たり医療費 334,946円	国民健康保険被保険者一人当たり医療費 341,159円	国民健康保険被保険者一人当たり医療費 353,105円	国民健康保険被保険者一人当たり医療費 354,632円	国民健康被保険者一人当たり医療費 368,530円
	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	
	国民健康被保険者一人当たり医療費 363,029円	国民健康被保険者一人当たり医療費 377,429円	国民健康被保険者一人当たり医療費 361,233円	国民健康被保険者一人当たり医療費 399,823円	
目標に対する評価	<input checked="" type="checkbox"/> (a) 達成できた <input type="checkbox"/> (b) 概ね達成できた <input type="checkbox"/> (c) 達成できなかった		審議会等が妥当と考える評価区分	<input type="checkbox"/> (a) 達成できた <input checked="" type="checkbox"/> (b) 概ね達成できた <input type="checkbox"/> (c) 達成できなかった	

【個別計画進行管理総括表-1】

<b>目標 2</b>	<b>★在宅医療の連携拠点の設置が完了し、機能している。</b>				
実績	2014 年度	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度
	設置されていない。	設置されていない。	設置されていない。	設置されている。 (2017年10月～)	設置されている。
実績	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	
	設置されている。	設置されている。	設置されている。	設置されている。	
目標に対する評価	<input checked="" type="checkbox"/> (a) 達成できた <input type="checkbox"/> (b) 概ね達成できた <input type="checkbox"/> (c) 達成できなかった		審議会等が 妥当と考える 評価区分	<input checked="" type="checkbox"/> (a) 達成できた <input type="checkbox"/> (b) 概ね達成できた <input type="checkbox"/> (c) 達成できなかった	

<b>目標 3</b>	<b>国民健康保険の特定健康診査の受診率が 40%以上になっている。</b>				
実績	2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度	2017 年度
	30.7%	31.2%	32.3%	31.1%	31.0%
実績	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度
	31.3%	31.6%	31.2%	31.5%	
目標に対する評価	<input type="checkbox"/> (a) 達成できた <input type="checkbox"/> (b) 概ね達成できた <input checked="" type="checkbox"/> (c) 達成できなかった		審議会等が 妥当と考える 評価区分	<input type="checkbox"/> (a) 達成できた <input type="checkbox"/> (b) 概ね達成できた <input checked="" type="checkbox"/> (c) 達成できなかった	

<b>目標 4</b>	<b>総合的病院が開設されている。</b>				
実績	2014 年度	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度
	開設されていない。	開設されていない。	開設されていない。	開設されていない。	開設されていない。
実績	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	
	開設されていない。	開設されていない。	開設されていない。	開設されていない。	
目標に対する評価	<input type="checkbox"/> (a) 達成できた <input type="checkbox"/> (b) 概ね達成できた <input checked="" type="checkbox"/> (c) 達成できなかった		審議会等が 妥当と考える 評価区分	<input type="checkbox"/> (a) 達成できた <input type="checkbox"/> (b) 概ね達成できた <input checked="" type="checkbox"/> (c) 達成できなかった	

<b>目標 5</b>	<b>救急搬送における ICT(情報通信技術)の活用により、救急病院との連携体制が構築され、医療機関収容までの時間が 10 パーセント短縮されている。</b>				
実績	2014 年中	2015 年中	2016 年中	2017 年中	2018 年中
	運用されていない。 収容所要時間 平均 41 分 18 秒	運用されていない。 収容所要時間 平均 41 分 42 秒	運用されていない。 収容所要時間 平均 42 分 55 秒	運用されていない。 収容所要時間 平均 43 分 19 秒	運用されていない。 収容所要時間 平均 41 分 50 秒
実績	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	
	運用されていない。 収容所要時間 平均 42 分 30 秒	運用されていない。 収容所要時間 平均 42 分 42 秒	運用されていない。 収容所要時間 平均 44 分 54 秒	運用されていない。 収容所要時間 平均 47 分 30 秒	
目標に対する評価	<input type="checkbox"/> (a) 達成できた <input type="checkbox"/> (b) 概ね達成できた <input checked="" type="checkbox"/> (c) 達成できなかった		審議会等が 妥当と考える 評価区分	<input type="checkbox"/> (a) 達成できた <input type="checkbox"/> (b) 概ね達成できた <input checked="" type="checkbox"/> (c) 達成できなかった	



◇審議会・懇話会等の意見

<各所管による事業進行管理表の評価状況についての意見>

「できた」「できなかった」といった評価だけでなく、取り組みが評価できる目標設定が望ましい。

<計画を越えた連携についての意見(他の計画や住民自治協議会等との連携)>

「自分の健康は自分で守る」ということを推進するためにも、食事や食育が重要。  
今年度から食育推進計画と統合されるため、互いの事業を通じて啓発し合える展開を期待している。

◇審議会・懇話会等の意見／【Action】の観点からの意見等

<事業の推進・改善に向けて意見・提案> (今年度、来年度に向けた意見)

計画策定当初には予期できなかった状況に対しての工夫があったため、次へつなげて欲しい。

<個別計画の今後の展開や策定に向けて考慮・検討を要する事項> (次期計画に向けた意見)

コロナ禍が影響したのは昨年度まで。コロナ禍での学びを次期計画に活かして欲しい。